



## 令和5年度嶺南教育実践フォーラムを終えて

開催テーマ「つながりながら、拓く」のもと、4日間の開催期間中、県内のみならず岡山県などからも、のべ430名の方々にご参加いただきました。嶺南の先生方の実践やセッションでの対話に真摯に学び、自己の取組を省察するといった、まさに「新たな教師の学び」に向かう時間であったと感じます。素晴らしい学びの場を提供くださった発表者の皆様、そして共に学びを深めてくださった参加者の皆様に心より感謝申し上げます。ここでのつながりをもとに、さらに学校同士、先生同士がつながって学びが広がっていくことを願います。参加者の感想から、各セッションを振り返ります。

**特別講演「学び合う学び」を子どもたちに 東海国語教育を学ぶ会 顧問 石井順治氏**  
子ども主体の授業とは何か、「学び合う学び」に大切なことは何か、などすべての子ども達の学びを支える教師として大切にすべきことについて多くの示唆をいただきました。



○自分自身の授業を振り返る良い機会となった。自分で「今日の授業はうまくいった」と思っている、「子ども達にとってどれほど深い学びになっただろうか」と思い返し、自己満足になっていないかを問い直していきたい。  
○何をにおいても、理念と思いがあっての授業であること、子ども達が聴き合いに夢中になり学びを深めることが可能となる良い課題を与えること、学びの充実のためにICTを有効に活用すること、そしてその土台として誰もが安心して話せる環境をつくることを常に心がけたい。

### テーマA：学ぶ喜びを知り、自ら進んで学ぶ意欲と力の育成

子ども達の対話的な学びを支え、学びへの主体性を引き出すために大切なことについて考えるセッションとなりました。

○中学校の学習を「歴史総合」へ繋ぐためのヒントを得られた。積極的に話し合う機会を設定したいと改めて感じた。  
○児童のことを第一に考えたやりがいのありそうな英語の授業の様子が良く伝わり、自分も頑張ろうと思えた。

### テーマB：誰もが安心して学べる教育環境づくり

全ての子どもが安心して学びに向かうために、組織としてどうあると良いかを交流し合えるセッションとなりました。

○「学級支援の目線で支援会議を行う」ということが特に印象に残った。  
○学級支援について一点突破で課題に取り組み、効果をあげられた実践が心に残った。担任の困り感に寄り添い、必要に応じて専門家の力を借りながら、児童の一步步の成長と一緒に喜び合えるそんな管理職でありたいと改めて思った。

### テーマC：ふるさとを愛する心と社会に貢献する志の育成

ふるさと学習において、課題解決の質を高めるというテーマで地域や校種を超えて語り合うセッションとなりました。

○小・中学校の先生方の取組をお聞きし、たくさんつながることができる場があることに気づいた。校種や市町を超えた活動ができるように計画していきたい。  
○嶺南地域で小中高が繋がりをもちながら探究学習を進められていることに感動を感じる。課題設定、評価、教科とのつながり、探究の質の深化など課題はたくさんあるが、まずは教員も一緒に楽しみながら学ぶことが一番だと感じた。

### テーマD：新たな時代を見据えた教育環境づくり

実践交流をもとに、よりよい在り方を見出すヒントが得られるセッションとなりました。

○ICTについて、もっと自由に使ってみていいのだと思い、考え方を転換する機会になった。挑戦してみたい様々な実践を教えていただきとても勉強になった。  
○今までは事務職員として、教育活動との線引きが難しいと考えていたが、取って線引きをしなくても教育活動・子どもを一番に考え、寄り添い、自分ができる小さなことから実践に移していきたいと思えた。  
○学校での各活動をばらばらに行うのではなく、学校教育目標のもと、活動をつなげて考えていくことの大切さを実感することができた。

アンケートへのご協力、ありがとうございます。「学び続ける教師」の支えとなるフォーラムであれるよう、いただいたご意見をもとにさらに探究を進めていきます。



探究は来年度へ続きます…

《問い合わせ》  
研修課 0770-56-1302